(19)日本園特新庁 (JP) (12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出職公表番号 特表平7-506751

第1部門第2区分

(43)公表日 平成7年(1995)7月27日

(51) Int,Cl,*		識別記号	庁内整理番号	F	I
A 5 2 B	18/10		7428-2E		
	18/02	A	7428-2E		

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 11 頁)

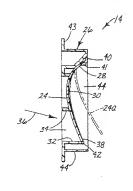
(21)出顯番号	特類平5-520322	(71)出願人	ミネソタ・マイニング・アンド・マニュフ
(86) (22)出願日	平成5年(1993)4月21日		ァクチュアリング・カンパニー
(85)翻訳文提出日	平成6年(1994)11月29日		アメリカ合衆間 55133-3427ミネソタ州、
(86)国際出額番号	PCT/US93/03797		セント・ボール、ボスト・オフィス・ボッ
(87) 額際公開番号	WO93/24181		クス33427番. スリーエム・センター(番
(87)国際公開日	平成5年(1993)12月9日		地の表示なし)
(31)優先権主張番号	891, 289	(72)発明者	ジャプンティチ、ダニエル・エイ
(32)優先日	1992年5月29日		アメリカ合衆国 55133-3427ミネソタ州、
(33)優先權主張國	米闆(US)		セント・ボール、ポスト・オフィス・ボッ
(31)優先権主張紛号	981, 244		クス33427番(番地の表示なし)
(32)優先日	1992年11月25日	(74)代權人	弁理士 青山 葆 (外1名)
(33)優先権主張関	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊止弁

(57) [要約]

顧面用濾過マスク(10)の排気弁(14)は、可撓 性フラップ(24)を備える。可撓性フラップ(24) (は、弁(14)が閉鎖位置にあるとき、非座(26)の曲線 シールリッジ(30)と接触する。シールリッジ(30) の即离曲は、カンチレバーのように一端を器定し、かつ、 可様性フラップ(24)の自由部分に一定力及び/又は 少なくとも可挽性フラップの自由部分の質量に等しい大 きさの力を加えた可機性フラップ (24) が示す変形曲 線に一致する。一定力を受けた可撓性フラップに一致す るシールリッジの湾曲により、可換性フラップ(24) は、シールリッジ上にほぼ均一な圧力を加えて、充分な 密閉力を備えるようになる。シールリッジの推曲は、少 なくともフラップの自由機の質量に等しい大きさの力を 加えた可機性フラップに一致する。これにより、可機性 フラップ(24)は、最小限の力によって、どのような 静止位置にあってもシールリッジ(80)に対して接し て保持されるようになる。その結果、呼気排出中に圧力 の低下が非常に小さい顔面マスクが提供されることにな る。



異次の報告

- 1 第1部分別の第2部分を繋ぐる可能性フラップを構え、
- 上記集 「総分はお原に数かけから、、投資を建せるフィス及びシールツ・ジモ ぎし、数シールリックは製造から見ると認得された。 に数分は、オワッスによって心器をおたが見なの水源から振力テップの市 上記可適性フラップは、液体がポリフィスを高速していないたをシールリッジの 労働性と発展し、上記可能体フラップの第三派がは、液体がポリティスを高速し になるをシールをテンジを会可に終わたがか。
- 競シールリックの物質値は、上型可能性フラップの第2窓分の質量と、少なくとも1集力単位の気速変との確に等しい大きさを寄する一型ガヌはその一型ガポがあらませた力を加えたとき上型可能性フラップの第2部分が示す変形態線に一端する水池の大型
- 2. 上税等額性フラップは、変形金額に対して急遽に存用する一定力を受ける、 請求項1回数の成止所。
- 3. 上記四編集は、上記の構施でラップの第2器分の質量と、少なくとも1重力 解放の制速変との模より大きい一定力を加えた可機性フラップの示す変形遊算に かかりを加える。1700年の形式を かかりを表示しているのがかからから、
- 一致する検索項1又は2記載の選出外。 4. 上記認何強は、上記の機能フラップの第2部分の質素と、助地線1、1~1、 5 gとの締め範囲内の一定力を加えた可旋性フラップのボマ素が動物に一致する
- 漢字版「~3のいず社かに記載の悪止か。 5. 上記可談性フラップは、気体がオリフィスを達っていないときに、70℃ 24 特別、どのような身上的変化あっても、上記司談性フラップの第2部分をレールリックに対して、適当かないように接触した状態で保持するに美分な取力維めたセイ本性を対し、そのいですがたに関める差片。
- 6、上紀オリフィスの寸抜が3~そとの; である請求項 5~5のいずれかに記載 の選を表
- 7. 上記根機器は、第四方向に存在し、かつ、上配可換性フラップの第2部分の

- 質量と、知徳度1、1-2gとの様に等しい大きさを何する力を加えた可強性ブラップの限定部分の所す該形曲線に一致する効素項1.記載の成此時。
- 8. 上記四南結は、上応り絶性フラップの第2部分の質量と、知過度1.2~1. 5gとの機体等しい大きをを考するなを加えた可能性フラップの第2部分の水子 変形会様に一致する減減項子記載の定止穴。
- 9. #受用連絡マスクであって、(a)人の暴及び口を獲ってフィットするようにしたマスクポダーと、
- (も) マスタギデーに取り付ける研究弁とを構え、
- 護婦気弁は弁底及び可譲後フラップを含え、
 - (1)上配作際は、(1) 資本が高齢することのできるオリフィスと、(3) オリプィスを包塑し、関節から見ると認識を受害する、シールリックと受験え。 坂レールリッリの機構製の信点は、基準機能の外端に対してオリフィスを適る機 体の進れの上降低に改まし、
- (3)上記可能対フルップは第1207第28分を映え、上記第1897は、オリフィスの協能した原等の外部の外部を外におり付けられ、上記第28分に、カリリススの協能などなるときシールリックの関係を受し、また、成体が上記を1974スを複像しているときシールリッジから自由に持ち上がる威強用延渡する?。
- 10. 上記可憐抱フラップの第1部分が指に深記され、実を取分化、姿をおす、 かつ、変数器線に対して適能に印度する一定方式は上記可適性ブラップの司を等 の的媒生かなくとも1前方的なの場合は少な地であり、大きを会称する方を受 けるとき、上記の物の目前をは当後性フラップの第2部分が中支型の傾に一致 する形式等別を記りの適用機能やマラップの第2部分が中支型の傾に一致

張級章 連出弁

技術分

本集所は、(1)顕版別確隔マステの監察庁として利用することが可能である途 出計と、(4)諸気弁を提明した翻版用確高マステと、(4)確此件の製造方法とに 満する。

発明の存在

発明の要数

まず第1に、ま物別は、ためらよべを並作を装件する、時に、第1億分表が定 を配合を行るで記憶プライで考えた。別 原金付金を指すしているされる。 度はオマフィス及びノーのリックを育し、シールリップは関係から見ると関係を を含する。 何間含フラップの配、間がは、オフマェスにもの目標大体の間が終 える金融を向いて向いづからな。 可能のファブは、現金がカツアイスを誘導 していなしてきりールリックの他間をと連載する。 で限金フラップの東京都分は のはかまでラマスを選ばしているよの・カリーツのから前に行ることか。 ノー ルリッツの場合は、一定力、すならち、「食物ファブの実を得かる異なった。」 ルリッツの場合は、一定力、すならち、「食物ファブの実を得かる異なった。」 分合わされた力を加えた可機性ブラップの第2項分が示す変形両数に一致する。 第2に、本発明は、次のような顕微用機器マスタを複数する。

面筋マスクは、(₃)人の暴致び口を覆ってフィットするようにしたマスタギデーと、(ゎ)マスクボデーに取り付ける物気をとを構える。

物気作は、次のような存施及び可接性フラップを備える。

- (1) 有器は、(1) 強体が適ることのできるオリフィスと、(ボ)オリフィスを包閣し、創集から良ると指摘数を有する、シールリッジを構える。シールリッジの影响意の重点は、突曲の外域に対して、オリフィスを適る強体の熱れの上鉄銀に負債をかられる。
- (2)可強性フラップは、第1及び第2部分を備える。第1部分は、オリフマスの2個した環境の外数の非磁等分に取り付けられる。第2部分は、非が関数度額にあるとをシールリッツの回角数を装し、また、複体が上記オリア・スを乗っているとをシールリッツから自由に称る上がる。
 - 第3に、本発明は、次のような報節用線造マスクを提供する。
 - 最高マスクは、以下の機能のマスクボデーとは気力を構える。
- (金) マスラボデーは、人の長と口を関ってフェットするようにに応収を行し、マスラボデーを基る気体の内部物質を参加するフィルター・研究を養える。マスタボデーは成日を付するため、 類はは、フィルター・デみを考めずにマスタボーから影出るれる。 関口は、想想用は指マスタを観測者の展記の展記の場合に登場すて製造があれる。
- (3) 旧葉中は、知口の日重でセスタボゲーに取り付けられる。 起気時に、可 地位フラップし、男 1 国際のところで何点に取り付けられる。 選別が、可 他位フラップし、男 1 国際のところで何点に取り付けられ、選別が何期に取 あるとカレールリッジ上に関する。 可当他フラップはあり自由配を得える。 東 フロ自由配は、「近日を対する者。 マイン、ままの呼及が発いないでかってくという。 名 アートルの哲学のは「大きな中枢を開発する」で、カイドに入したと、カーの区の日で アートルの哲学のは「大きな中枢を開発する。 アイドに入したと、カーの区の日で

を示してもよい。

第4は、本発明は、以下のステップ (a)、(b)を育する逆点弁を製造する 万済を開催する。

- (3) シールリッツに位置されたオソフィスを育する弁弦を設けらステップ。 シールリッツは、実際から見めと位置的を貸し、団間会は、伏のような可能せつ フィが地大変を観点に一定でも、電視のフップは、カンナルバーのよっに至 に関定された第1 第分を備え、第2 80 分で8 5 分類定部分は、一定力、すなわち、 可能とフィブの第2 8分の変量と、少なくとも1 30 方無位の効度をごの責に等 しいままるを育ちったおけるのである。
- (も) 可換性アウップの第1部分を、次のように弁定に取り付けるステップ。 (1) 可換性アラップは、液体がオリフィスを着っていないときケールリップと 実験する。また、(8) 取り付けられた可換性フラップの第2部分は、液体がオ リフィスを添えているときケールリップから食品に持ち上がる。

報源推進サスタル、受金から機能で展刊でもなければならない。安全他の人 のに、関節するとは、市場物質が始高をかって超階でよりの内部に及りしない。 ようになっていなければならない。また、決場に実施するために、超ポマンタは、 者が振力がて、終意性を出してできるだけ多くの呼吸をなり始かなりればくると、 は、本表明は、次の情報のフラップを等することによって、突を受取がまを検察 する。可能カフテップは、海気中の混雑にかたらか、角面に対策的に中へより 小を実践する。本の形によって、最初なのを最近は一般があったする。 (1) 超間推進するプラの信息にかららが、角面に対策的に中へより 一手列を含まるようであってはなくて、例でから無数はつ場かでは、うせたち、 (1) 超間推進するプラの行法では、一般の人間分を増加さるとまったまた。 また場合によっては、(2) が得外が対策マステカに使れるようにするために、 学をやに出版的機能なステクトの全部にない。

本表明の第1及び第4の点において、可慎性フラップが井温のシールリッジ上 に実質的に元を立力を始わることを可能にする正た声が開かまれる。可能性フ ップの第1額分を前に取り付け、可損性フラップの第2半なわち着効能分を シャレバーのように支持することなよって、実質例に効・な力が得られる。なに、 可能力ラックの裏上で広りちの自然分を、コンピューチーシミュレーションを 現他して東がする。コンピューターシミンでは、以一の欠ささの間 の方のうとかる。可能ガラップの原面に対して急なたがは、、可能のカラップ に行かする。 可能ガラップの原金に対して急なたがは、、可能のカラップ に行かする。 可能ガラップの第2回分は、原始の前とデルキンの同様を発す。 さら記述明る私にがあれたとが、この解金をオナラ南近によって、可能ガラップが出めまった。 ションに、可能力・ファンダ、みる配置ではレールリッシとは上がジェンダ 数性がず、他の原金では、「他の事金ではレールリッシとは上がジェンダ 数性がず、他の原金では多く様とする。このように切っては 数性がず、他の原金では多く様とする。このように切っては 数本さるとによった。不要数をは多く

本発物の第1支で取るの点において、定点がは、また、特別の正力を集り向は 間点である。表が構造的な力を付加して、特別のフランプとやようと検索とあった。 (物理機能は当時でようとことは、て、注意が必要があった。 順大で、フランプを別番する美沙田のうを知る。分割は、回路由を有するシールタ リンプを見える。この開発は、、開始のフランプのカアをからかったが、一番を 回流した重生をおとされて関係をフランプの示すを影響は一般でよう。である 製造して重するトルランドによって、影響が目標を全に基めてもある。である 製造して重するトルランドによって、影響が目標を全に基めても高度と等を ち、また。最かの力できを繋がて、展出でよう金数での圧力度下か小すくなるよう がしている。

本等的の第2の点にいて、無限所電子でクロに、からい方気能力の名でおい 別を看着る。気候の底状力がかいと、物場の発展が容易にするという的点 するる。実際はかいては、円度性フラップを、井のカデランで発展される数 素の内側による可能がありますることによって、上間の特別が構成された。 実際を持てきる場所でよって、円度性フラップを抽解がシーツ・のから算品 に持ち上でようになる。ではなっ、円度性フラップは、ボワフィスの回覧した。 最後の内側の中枢に設け付けられる。ペーントアーにはより最大であったである。上間機会件でお買力がたは、キロバ、ボワフィスを繋が、接出中に実施 で見して観響を大きでは関係がある。

上記行点に加えて、本発明によって、呼気の大部分は体気弁を通って放出され

ることが関係しな。また、天の世か会議では大くを名称いた様においては、 理額機能は不少の力にから使じて、一般によっては実施では決定さな場合 があた。たのようにして、上記のこのの時を発える。(1) 主电器や自然表外を 実施のする。また、(3) 海水力のオウィスのための存む・少面回車を返定す 3、本男科の対象がか、条めのおれの方向に全省でから受てフザカセンナー から (14) 別人の影響があるが、大きないのでは、からであるというである。 トルターにかり、別人の影響を挙じて、フィスを持た、また、 一般である。 一をなる。 一をなる。

本発明において、協出気視の速度が違く、容積液量が 4 0 りゃトル節秒(8/2s (4) 以上で、圧力の低下が24、5パスカル以下のとき、少なくとも呼気の40 パーセントは、接曳件を通って開展マスクから放出される。(例えば、着用者が 株をすばめたと含のように、)接近気灰の速度がより違いと、緊塞用機道マスク 内に角圧が生じるかもしれない。本発胸の第3の点において、角圧を示す難器用 放送マスクが遊覧される。最近によって、呼気の190パーセント以上の完実量 が体気性を辿って放出される。さらに、食田によって、人が息をなくと問題の空 気がフィルター学数を通って内閣へ流入する。この結果、資用者が次に邸を扱う ときには、養殖者の高よりも冷たく新鮮で、温気が少なく、かつ、類集食有量の 多い、製物の空気を扱うことができる。周囲の空気の成入を吸入と呼んでいる。 吸入によって、着用者はより快速に蒸塞マスクを装備できる。また、吸入効果は、 祖の保護のバーが最ものを助えする。フィルター手景を通って閲覧マスクから出 て行く呼吸が少ないためである。役入効果の発見は、非常に驚くべきことである。 上記した本発明の報じい特徴及び利点は、商品及び次の課程な議所においてき Aには難に示される。そこでは、葡萄部材を扱わすのに潤一の整備符号が使用さ れる。しかし、関係及び詳細な技術は、例示のみを繋的としており、本務局の報 務を不当に限定するものではないことを限解しておく必要がある。

製造の繁集な製料

図1は、本発明に係る類型用構造マスク10の正面図である。

- 22 は、第1の報路等マスケボデーの一個新面面である。
 - 図3は、図1の3~3様におって切断した辞気弁の新図館である。
 - 別4は、本祭明に派る井底28の正義路である。
- 数らは、カンチレバーのように支持され、かつ一定力を受けた状態の可能性フラップ24の解層間である。
- 図らは、カンチレバーのようにを持され、裏力加速度 8 年受けた状態の可能能 フラップを4 の低温度である。
 - **関7は、本際時に係るをカバー5 Dの料理的である。**

好通な実施的の影響な故明

本島明の好者な実施外の記載においては、秋光の専門店舗を実常して明確に近 べることにする。しかし、本島別は、そのように高別した検知の財籍の要単に限 定されるものではなく、進列した品牌部は同様に機能する状態の時等手段の全て からますると開稿されなければなるない。

図 1は、英英明に落ち面面前建議マスクリ 10年以ている。新期間連議マスク 10日、海政所 14を取り付けなカップ加マスタボデー12を構える。マスクボ デー12は、旅口 (配合せず) を行り、呼吸ロフィルター 漸を過去することなく この間10を通って貸出される。マスタボデー12上の間口は、マスク専用所に参 開着の口の出上に選手さのが好ましい。マスタボデー12の間的設定を発は、 環境計14年となる後述で、最大を通知する。

マスクボーエクは、前度を払いた対象技术で、あるいけたものもの事業がな たされ、男だし、アスタボーに、クッチャラ・7 (Papering De ERRIPE とする米温物力にがしなける技事ではあっされた回転マスタのような基金を有す カップ軍マスタを開催できる。マスタボテー12は、万度を技術等等13以 外型フィスター第19かの名で(位2分別)、中型放送開降等10はマスタ10 の構造を可能し、フィルター第18を必得する。対域内容15 は、フィルター 第18の内容数グブスが同じまえられる、形式の影響16は、アメルター 変形的に応じいた形容を置しまれた場合からなる。対象の情報は、現実が変化されて に関することができる。対象の情報は、対象が変化されています。 → 単の場所を正成がたとして対すれるが、即は用限を1.5 に、変化、運動の、通常はフルビアの構成が、あてるようにしてもよい、既高マスクを目的項の 過去につったり合かせて解析するかのは、マスケボデーは、用量1.0、以びば又 はマスタハーを大事を辿り付けるかがよい、マスケボデー1.2 上には、アルドニ フルムような異体でなられて大変の状態が、ドラスタが乗ったれる。上がパンドラスを対象がある。上がパンドラスを対象が大力を対象がある。上がパンドラスをディーとは形態がある。上がパンドロボディスを受けることだって、マスケボデー2.2 は形態の設準板でも得るの美 では断げ、スクを受けることだって、マスケボデー2.2 は形態の設準板でも考えるが、

配面開業等メアナリの需要が成場を決めませた、等別は、マステがデー12 及び機会力とを表す。で記念され、マステが一12のフェルテー業を送り で成め」とを表って認念される次気の軽の質りには、知識が増す。第次が 非常文化から利益性ランテブミを持ち上げることによって、再知は申14をあっ に対象されることは、列金ピランテブミミは、フラップミとの第15分23 のところを認定さればりがけられ、可能サファンデミとの軽値があるがある。 以下の表す。(Pathalish とは、フラップミ・スク報道の下の電力は、 は下の機会は、(Pathalish とは、ファップル・のファンドーのようと一般で観点 またて優から成形は、(Pathalish とは、アメリカー・、中間の日本の形式を表する、最近機能のセントラップは非平断に対して約90g 物能に対象がら成れているようにない。(Pathalish とは、では、のよりとは、ではない。)

33. 4にボナシル、参加2日にレールフップ3日を表える。民外が利した を構造しているいと、有機カラップ2日とレールフップ3日を開する。シールクェッス3日の20万円円間には、化水金属アとして、セラマス3日が同時を ちゃだから、ボリマス3日に、ベル金属アとして、セラマス3日が同時を ちゃだかけるできませる。マールマルコの2日の2日の日本のでは、インス を使ったとかは、「知識フラップ2日とサッフス3日の内部人力も40回ド 成立する。別部から及ると、マールフリス3日のからは、小がカップ3日よりが が成立する。別部から及ると、マールフリス3日から関係している。日本のでは、「 ファンプ2日がある比りになった。」であり、マールフリス3日から ファンプ2日がある比りなられてシールフリス3日から関係るということのでいよう にしている「後ろきない」と

シールリッジョリ及びオリフィス32は、先体の流れの万円に対して確定する 古森から林たともどのような形状であってもよい(微4参照)。 例えば、シール ロッジ30路びオリフィス82は、正方形、方形、内粉、椿胡樹等であってよい。 シールリッジ3日の影状は、オリフィス32の影状に一致していなくてもよい。 概えば、オリフィス32か円形で、シールリッジ38が方形であってもよい。た だし、シールリッジ30はオリフィス32の検路となるので、オリフィス32を 通って変変しくない所需物質が放入するのを防止することが必要である。しかし、 シールリッグ30畳びオリフィス32は、放体の液れに対する方向から見ると、 四系数線を育せるのが好ましい。マスタボデー12の間口は、好ましくは、少な くともオリフィス32と詳一の寸法を育する環域を確える。もちろん、同郷放り ラップ24は、オリフィス32よりも広い範疇を置い、少なくともシールリッフ 30か終んだ軽額の寸法を有する。オリフィス32は、好ましくは、2~6cm *の健康を育し、より好ましくは3~4cm゚である。この寸泡のボリフィスを影 彼することにより、韓間マスタは、誰かくて扱った呼気を挑除するに効果的な呼 吸ができる。好敬が行われる数、オリフィスの寸法の上窓が警費になる。という のは、オリフィスを拡大すると、薬器の意気が、フェルター半数ではなく蒸気弁 のオリフィスを渡って顔面マスタに能入することも考えられ、その眩晕、呼吸薬 終が安全でなくなる可能性があるからである。

所が実立している時期であるのであり、 第314、ルーループリコンに関する開発であり得社フラップ24を行さ ともに、適路よ4を可能が成功が開土フラップ24を行している。シールリッ とおり、現面のフラップ24を対したして、日本のではしている。シールリッ とおり、現面のフラップ24を対したレールのようで展記されたできた。特殊は 万3の両面の内から見て全球が124・カールのようで展記された場合をは、 成当が開発しているでは、日本のでは、 成当が関するシ州マラがに作ったでは、日本のでは、 成当を対しているでは、 大名を含る基本のから、別面のの外にに対して上面がに関する。現在リッ フィス32を感る機を361、可能力フラップ34ではして、フラップ34の目 フィス32を感る機を361、可能力フラップ34ではして、フラップ34の目 の場別を指する。

る。身14は、好ましくは、かのように銀数マスク1D上に認識をあるます でおち、写像数フラップ24の直信成る3日は、マスク10が砂1に示すように患 直方向に取り付けられたときに、効定線28の下方に記載する。これによって、 呼気は下方に窓向し、最初8の型の保護カバー上であかる機ずものを告立する。

第3. 4におすよりに、万億20日、フラップ資料報も0を終える、フラップの 無限税を10は、スラッス3回位機能の対策でかした。サラップ資料報も0の配子型は、タゼくとも 人を燃料の外間に直接があるれる。フラップ資料報も0の配子型は、タゼくとも は20分割と、40分割では、フラップ資料報も0の配子型は、タゼくとも は20分割と、40分割で、フラップは40分割では、フラップは40分割をは、フラップは40分割では、フラップは40分割では、20分割でサンダイもを 人をことができる。可能力フラップは40分割では20分割では20分割であるの影響の したして、ジェル1・90円まると、可能力・アンダルは、20分割でも80分割の ととして、ジェル1・90円まると、70分割で、アンダルは40分割では80分割で とともな、ジャル1・90円を40分割では、20分割では20分割で20分割では20分割

フラップ海開発 (日は、評重なくは評算なら上に削減されていて、気体がより フィス32 を構造している。より、カラップ海内取る(日は、開産がら見るた)、シール に関し付けられて思している。プラップ海内取る(日は、開産から見るた)、シール リッジョ30 の機能のは、ボリフィス32 スピッ・ハヴィップのから機能では、 ・フラップ海内部(日は、ボリフィス32 スピッ・ハヴィップのから機能では、 ・フラップ海内部(日は、ボリフィス32 スピッ・ハヴィップのから機能では、 トゲームが構造される。フラップ海内部(日とボリフィス32 の間の開催が大き ルグにかった。ベン・ファンドー・ル目を、(ロ)、カーの、「同様ラング・アグイとのト ルグにかった(にな)、その前機、可能はフラップでは、トゲームが特殊に入る ・可能コンラップの高度が出りませな。したり、特殊(日とボリア、ス スタミン内の形成)、可能はフラップが自に、多たり、特殊(日とボリア、ス だけられて、弁が関係改変にあるたち、大阪物一に相対された力がよい。フラップ専物をとオリフィス32の基接定をとの間の影響は、好をしくは約3~3.5mm、より呼吸しくは1.5~2.5mmである。

ポリフィス32とフラン 次数階 40 0 との間報は、また、同様やフラップなと がレールリングのの個象えた智能になったとも可報ながらなかたの数様が を構造する。可能やフラップなは、異なる意とで終わてきまえもとサラに配か からあるが作ました、フラップ商階は「の日本管理をすることともできま カリッジョのは感ですってもよい、すなかち、フラップ指導はのは、同様を フリップのは「企業を関係の金融所経済をかってもよい、したし、その報告、司 情報プラップなくな、製工業な、レールリッジ30に対する機能点と可能に、上 効果者の必ずるのが形ましい。

予例2.6 は、好ましくは、一体形に皮形を含んに吹む 电路のプラスティック からえ、発起は、対理反対回路を利用して発音である。 可能な ファブダミスを 株でシールリック30 の数据 (機能) は、対きしては、はばかーに平から下 成まれて、選択に密がまれるようにする。 は地話り、可能がファブダミスが レールをなて十分 V場合を有することがある。 は地話り、可能がファブダミスが かにこる機能のか、可能なファブダミスを接触しにく(するようなことがあって はなるない、接触的の関係。 好ましくは、少女くともら、ブルロマ、ドラ・25 man (2) 5 mm mm (2) 5 mm mm (2) 7 mm (2) 7

「開始ラップ24に、非なしくは、原可能力ラップ24を開始もので売る 高さに面変されると表に、ケーガ・リップコに知らって情からたのが有から なる。同様セラップは、ほましくは、力を加えないともには単細形できない。 また、現場をもし、未続かなカラッド・プルドでを扱うを有する。別性成プ ラップは簡単性性のようとかできる。別様はののもしては、周囲気が立く (別 支払、関連ポリイップレン) 又は、ネオブレン、ブチルダム、ネトリルダム、ス はショーンガムのプクを含まるテストで一端が行わる。別様の 関急でしまいばんの間として、皮がらのかが行かれる。アメテカを影响・ワス ルーステム・ボーンのアメータリカン・ライ・ロングニー

「周囲サラップを141、金貨店で第一公園を含から4時から実施した。 をよい、一番的に、第の第346時、20-の、島田であり、上の一般ではり、 3-0、6 由面であり、野ましば、0、35-0、6 気を加すみる。可能はつ りつけ、再としば、力能と切めるか、自動は384年である。可能はつ 日間場る3点とレールリッジ目の地帯するとこのでシールリッジの6分析に一 かそうと75歳から、月以に 別154年でように、自産を311、円部シレールリッジ30と地帯するとこのでシールリッジ30を制定してい ールリッジ30と一般した面積的で超点2を作する。そのようた自動は384を を作ることことか、自動に3934分の間にでう。その時に、現内に収めては784年 ルラッジ30~9条1年の上が自身に対していまった。として、1891と、1891と(1891)に、1891と、1891 状の自由第38の半後は、約1.2cmである。

図)、4 に乗転域 (発音れるこかに、フランタイ31は、世間20から辺か近後 近して、関東的14をクラスデデー12 は反応するためを総合機能している。フ ランタイ3は、資本しくは、井電20の間距後体に形成する。マッテでデー12 が機能質で電源用機がマスタの場合、提及第12は、電源機能、機能を含、機能 対解質技化をわらままでを発促した。マンスデデー12とがセフランタイ 3のところで電影でする。 対処所14は、週間開業通マスタ10のマスタボー 12 在空間機能をはたのが終ました。

語与は、可能性フラップに対して一型力を加えることによって、変更する可能 はフラップなるを示している。 (質性) アップなは、 関係的 ラミールを持定。 らに関定され、そこから第2首前子ならち自由部のそのシテレバーのように又称 する。 内容後のは重した。 (可能) フラップな は、 関本能力 ようの意義が出た。 アンモア軍ごの混合されるのがほとい、一、マリル、共一の大 きらの種類のカペランとなずである。それぞれが、可能力ファップの所名に応募 予測にが展する。 その機能とどいの変形を使る。 作器のシーツングとの連絡 を設かるのに使用することになっていまった。

実質的に均一なシール力を構えるシールリッジ3日の指字は、経験的に決定す

ることは写真のは、しかし、質問異常体により知識が止動かけことができる。 場合すべき別様は、不必必要だるととは、その自立地に一つかないとよう にした可適性フラップのモデルを得ることである。所属するアペラトルは、可慮 生づるップともの質点に対して重点になるようでする。なぜはら、シールリッツ おり戻する「場合ファブダイロシールがは、シールリッツ に対象するかである。次に、この重信や一定かな状とで開始とフラップイ 変化した現代と、アルリッツョンのが最中で記さるなどで開始とフラップイ

育器等を含を紹進して、智能性フラップは、一種を確定したのけピームのよう に、2から何有望気気をデルとして投ができる。この場合、2000年ですっての内 京義は、連絡した整数の強小区域でなわち発素に分割され、その数小区域でなわ ち夢葉の観察で、ビームの姿質を強わすために近似複数を使用する。ビームの全 は的状态は、弱々の豪富のた何の一な飲食から悪かれる。可谓はフラップのは軽 の数数は、モデルに象別される、可能性フラップのは私のよれひずみ作品が、確 始終れの協会のように急遽形であるだらば、ムーニー・リザリン(Window-Pivili e) モデルを逆治できる (アール・エス・リウリン (8.5. Bivlie) 反、ディー・ グブリュー・ソーンダース (B. E. Saonders) 北共著(1951年)、フィラデルフィ ア・アール・ソサスティー会報(Phil, Trans. & Soc.) 、4243, 351-96の『等 労務材製の大韓株安別: 第7度ゴム安別に関する事業 (Large Signic Deforest ion of Instructo Seternals : W Experiments on the Deformation of Rubber) ! 数級 : 。ムーニー・リヅリンやデルを使用するには、可憐性フラップの応力/ ひずら関係作用を示す一連の定数を、実験ナストデータから使定する必要がある。 これらの定数を、ムーニーーリザリンやデル内にあてはめ、2次元将限置黒モデ ルに使用する。この分析は、大体性 (farse deflection) 成及び非線形的分析で ある、動物的解水性、ベケトルが限に対して必要に保持されるため、一般に反復 後を有している。解は、新部のカバクトルに基づいて計算される。次に、カベク トルの方列が変数されて、折たな解が計算される。海染形状が、予め定めた最小 小砂切りに、ある原物から次の原理に変かしていないときに、保護解析媒体れる。 カナルとの複数数素が終コンピューター・プログラムによって、一定力能を集め

正方としてインブットを有る。東京近月は、色粉的に、バーダルフォースに会会。 れるか、又は、パーゲルフォースとして直接インブットを行る。、パーダルフォース 入が他の大きらは、刊機かつラップの自由のが更重し、刊機をフラップの要重は 作者する事力が高級を比重力のもの他の管理との様にもしてこれ、けましい意 現実が最初が高級を比重力のもの他の管理との様にもしてこれ、けましい意 最終的機能は、自体シールの。ッ切の歴史を必至する多項の提供に適合する会論で ある。

85は、重力またもの変わしている別的のフラップなを表示。4両数フラップなは、運費をデーくるの匿名もためして、数据2名のたちでカンチレバーのように関連される。このように数定された時間数プラップなどは、変力加速放さなよって変勢した効果を示し、上記したように、実際から光を外面のレーペックの開催は、重力が内かりを決ただる。大腿とフラップなどの影響がは一般でするように対域である。上記を大力不らかは、少なくとも1単位の重力を必要とで指数フラップなどの自動の変更から回転である。

第7治規定の報告により前アートルを移動を16分割と同じい場合にある。 は今期の表現を対すってからまた配着に一型でも自分です。 ルゲールに、可能サファップを研究機能で記述することが売り物である。 ルゲールのよりのは、加速性 1度以上 ためしくけました。 簡単プラップの前下を影響に一些する自然を付することが売り物である。 には、ルールが、シリス、1、2~1、5 まのの政策が成立なられる内側をプラップ の更知識に一番する自然を対する。ましか多に対しいールリッのは、3、1点の 地域がことまでからなで開始プラップの定面はに一番する。最後関係を表え る。まっは、当成内がプロログログ、でしょうな交響を受けませた。 に、10分割では、20分割で

実際には、可憐能フラップに対して、I まる始える (終えば、1,1,1,1,2,1,3 まなど) 予労嫌をかけるのは振戦である。しかし、そのような変力が過度の大き 8に一致する変形治療は、有限要素がによって決定できる。

東方によって自然を写真性ラップ子を数字的に重要するために、2次元月報業 まそがから、その一項の自選度が完全に実施されるように定める。要素ノード(c lassest modes of instrate)においてビール皮形を使じしめて、1億の代数力度 ぶを新く。要素ノードを複合すると、変形急難念体が形成される。これらの点に 直接を介ではめることとよって起程の方度式が作られる。この方規文は、弁理の トールによっての表現の方法ではから、1

有限要素はのよいところは、最力変数の加速度の大きさ及び方向を従々に変化 させることにより、可吸性フラップ上に所図の予模量を作り出せるという点であ る。終えば、可換性フラップの重要の16%の予商業が必要な場合、1.1gで作 られる複形態報は、智能から見たシールリッジの構造として使用される。水平な 支持面に対して張力原連度のベクトルを倒転させるか、文は、重力ペクトルに抑 して実務弱を図載させて、方列を変化させることもできる。好速な変形由数は、 支持面46を水平面と等行にすることによって定められるが、本研究においては 次のことが明らかになっている。すなわち、守機性フラップ24が水平面に保持 されているが、描らに立すように可憐性フラップ24か水平図より高く発性され て、支持数くらか25~55度の範囲の角度なであるならば、可能性フラップ2 4の最大変形は残こらはいめである。また、水平派に対してある角度で支持領を 祭転することによって、治療状フラップに対して急度な一能力を加えた薬剤治療 に遊戯する実影系数を含れることが分かった。長さが一定の可憐性フラップにとっ て終年の開新の飲食は、食力食物の大きさみが可収料フラップの宴会によって物 変される。しかし、一般的に、谷をしい実形的株は、釣る3度の角度分で支持能 16684762268206.

症気弁14は弁カバー50を備えていてもよい。これによって、質適性フラッ プ24を保護したり、自然外を通って河梨物製が破壊するのを防止する。顕了に ※した弁カバー50は、壁部44に対する摩擦力により換気弁14に限定する。 申カバー5日は、また、耐労者が徐、後勢削又はその他の好者な中央を用いて、 核繁単に固定してもよい。各カバー5号は、洗浄の過器である第四52を構える。 離れらりは、経ましくは、心性くともオリフィス32の寸弦を育し、オリフィス スタより大きいのが終ましい。おカバー3分の類は52は、好ましくは、洗体で 自の地域に対核の管体的なれ、逆径が最小遊に抑えられる。この点に関して、関 自5.2は、可機セフラップ2その自由施3.8が、開放及び開機時に強く軟棒には 12年かである。司籍教フラップ24に禁しては、弁カバーの第日52は、好まし くは、直接の流れを下方に向け、環境者の既の保護カバーが最ものを助走する。 作力パーに液体不透過性創業部5 くを換えると、呼吸含体を下方に同けることが 明報である。20052は、井カバー5日の構造を保持しかつ弁カバー5日に英駿 を与えるために、複数窓材56を鍛えてもよい。さらに構造媒件及び条鎖のため に、一式のリブ58をかカバー5日に取り付けてもよい。介カバー5日の内部は 次のように設計される。すなわち、内部は、非報20のビンも1と明念する機能 材(顕染せず)を有する。弁カバー50は、また、可類性フラップ24をフラッ プ解降型A目に対して認定する至(製造せず)を構える。井カバー55は、軒ま しくは、液体不透過性光磁60毫容し、天総80は、可模性フラップの環定媒か 6日由地の方向へ向かりに従って驚くなる。天郎もりの内形は、リブ又は傲猩猩 様又は節出表際を設けて、天際又は可線性フラップ上に最気が生じても、可線性 フラップの自由権が天曜68に付着しないようにできる。共力パー88の設計は、 ※国政府務務部職業25/600,282時に定分に示されている。本務期に係る環境マス **り上に利用するのに好感である、他の於カバーは、米男君系特許由羅第25/608.3** お祭に云されている。

本発物に係る。一方的に関係を終す途点的は、信気やとしての利用に関して係 べた。しかし、上記片を他の用途に利用することも可能である。例えば、人工學 労働用の最大弁、又は、資務用又は定正へルメット用のパージ弁として利用する

ことも可能である。

本原列の利点及びその数の特徴を、さらに次の実例に示す。しかし、次の実的 が目的を達成するとしても、測能した材料、使用量、及び、その他の条件と詳細 は、実実用の掲載をぞおにも限定するものではないと、明白に理解されなければ ならない。

実例) (対容哲集法による解析: 1. 3gの力を付施した可憐性フラップ) 本資料において、労働のシールリッジの実由を展定するために、有限要素をに 基づく解析を利用した。海側は、1 さまの知遠腹を受けた可強性フラップの自 会議が落く変形治路に一致した。可適性フラップは、実然ゴムの色成物からなる。 この台級物は、ボリインプシン88質量パーセント、機化規約13重量パーセン ト、同盟制としての多級協防数エステル5歳費パーセント、ステアリン論、及び、 数化防止所を含む。可線性フラップの材料密度は、1、 9 8 グラム低度円ケンチ メートル (e/co²) であり、頻節冷びはらてロバーセント、板架引揮物をは19. 1メガニュートン紹平力メートル。及び、ショアー装度ススケール35であった。 可機性フラップの自然に動く部分の長さは2、4cm、幅2、4cm、厚きり、 43mm、及び、金額状色虫精の半後は1.2cmであった。可慎性フラップの 全長は2. 8cmだった。可須恢フラップに対して、張力試験、結終抗断試験、 及び、2輪引偏試機を行い、実際の雑動を示するつのデータを採用した。このデ ~ タは、工学的地力及び工学的前みまに変換された。次に、有限要素用のアパカ 2 (484(25)・コンピューター・プログラム (米菜ロードアイランド州、ボータ ケットは役所を有するヒビット、カールスソン・アンド・ソレンセン。インコー チレイテッド (Bibbles, Earloson and Saronaga, Inc.) から入半可能] そ利用 して、ムーニー・リヴリン定数を得た。延祉的データに対する応力/至み試験の コンピューター・シミュシーションを確認した後に、2つのムーニーーリヴリン 定数を24、日日と8、398に設定した。これらの定数は、可能性フラップ材 料の試験から得た実際のデータに最も近い数道網頭であった。

核子点、境界条件、及び、商業を表わす入力変数を選択し、次に、これらの要

数とムーニー・リヴリン変数をアパカスの有用要素用コンピューター・ブログラ ムに人力した。含塑素の形状的質は、、シッドペイド・ノード(ski-rink notes) を寄する2次式となるように選択した。変力欠款は1、3gになるよう選択した。 数大変別等限のよみを基からの保格数をも、数かペラドルを観転してそく家に於 定した。データに示された曲軸の回接は、今点の曲線を水の方線式によって変め

テラ・6.02259: - 2.444794: - 5.782539: - 16.02359: - 15.737552: ここで、太をすばそれぞれ構成機会と確反機会を当たている。格場条約の2条性、日 99に率して、対象投資機をデータに対するこの方程式の影響を影響に採した。 ※ した。 不幸は、アルミュの名機構が下してきた。 ルールボリンの名機構が

んりょびけら初の実際機能に一段する関係の業務を発した。3、3とm3の時期 オリフィスを弁察に形成した。可振機フラップを用らなフラップ保持面に取り付 **うた。フラップ保持面は、他線状シールリッジに正接するオリフィスの最後近郊** から1、3mm離れていた。フラップ保持薬の先さは6mmであり、含痰を摂動 する甚をは25mmであった。金錦状シールリッジの様は6、51mmだった。 弁がどのような方向を向いた場合も、可能性フラップはシールリッジに接触した ままであった。可憐性フラップと作権の間のソールは難出を訪ぐことが分かった。 次に、この作を開致するのに数小数必要な方を設定した。これは、彼体が過過 可能なマスタボデーに存を取り付け、弁を開版状態に溺定し、気度容量の開致で ある円力低下をモニターすることによって定められた。往が開鍵した状態の標準 京道路マスタの、行力値下対気波のブロットを存成した後、回復に、非が開いた 状態の機能用減過マスクのプロットも存成した。この2歳のデータを比較した。 2級のゲータが異なる曲は場合時を示した。何度も長度した暗幕、猶存時の圧力 の値下は早均して!、03mmH。ひであった。この圧力は、オリフィス内の可 機能フラップの函数で、外を開放するのに必要なだ力を割ることによって、可能 性フラップを持ち上げる力に変換された。オリフィス内の可能性フラップの巡復 は、2、49 cm2であった。これは、0、00352ニュートンの募弁力を与

えるものであった。年務セプラップの自由に動く部分の変素は、6,00251 ニュートンであり、重要に対する原序力の比は、1,40gの予度重を率した。 この責は、遅終した資金の定数1、3gに応引しており、同機性フラップを開放 時に向けるのに必要な力が多った型点をれてれるに。

賽餅2 (有限要素性による解析:一定力を付加した可換性フラップ)

本例。任用更是単立よる状況。」。3を付加した円間報プラップ) 本質的に加いては、実計しる間は、、特別しの間は、、特別しの間は、3・3を の地域を実力に対して、場合して、10年のシーのサックの場合は、3・3を の地域を実力に対した。7年のシーのサックの場合は、3・3を セフラップル、アーキッツ・イブライベルトの資金がある人元甲程化を始める3 のからなるなにはて、、実材と表である。7年世ラップの機能がは、1・3 017タンをはアセンタートル(Graft)であり、経験がけらの5年以上、シェア・研究 Aスタールイブ、5であった。ファップの外がは、実践(ロフラッグと呼下せた。 スタールイブ、5であった。ファップの外がは、実践(ロフラッグと呼下せた。 スタールイブ、5であった。ファップの外がは、実践(ロフラッグと呼下せた。 47と~3、9354に放送した。第1の窓数は、上記材料が密約1の材料より も硬質であることを示し、また、これについては、(上記材料の)ショアー液度 Aスケールがより大きいことにも依されている。

この材料のなる形の1、43mmのフラップを実列に内容は上級で付ける ・ ガェは海尾の自動を注出でいて一般でした。した、この時は3.78度 であるから、実材にの材料よりも、資料料の巨力度では最かに大きった。よう 等いる、3.8mmのラップを取り付け、この性点性でもかった。したし、フラッ 等3.8mmのであったでであった。この性点性でもかった。このとった。このとった。 フラップ等所管を受付するか、以に、実有1.0位間を望かに変化させて、血栓を 学的にすることでは、で変化していまった。このこれに、自動を 学的にすることでは、で変化していまった。このこれに、自動を 学的にすることでは、で変化していまった。

深刻 IL LANT、この特性の配動機を売めるために、アパルスのフェックス を特別した。東京地を持ち、3 またになるとは完全、東京機会が開始シラップ の業事の30パーヤントの予用業を有するようにした。この場合、最大変別点様 の水平面からの接換距4を、ファップの選手が1、55mm、の、43mmの とも、それぞれらなそ3 2 度に定じたした。データの機の影響は、2025 2 4 欠を写び起式で表される月返の曲板を示した。第38、33mmのフラップの 場合け、

y。-0.63878x。-8.86368x* - 1.63696x* + 1.23551x* 及び、第2日、4.3mmのフラップの場合は:

y = 0.00287x - 1.00890x² + 0.10674x² + 0.20614x²

これらの最報は、実別1で使用したゴムの場合に求められた影響よりも減やかである。また、実例1の非確の価値に適用すると、未残のゴムの予例並が30パーセント以上であることを示している。

変数4-5 (本観察に係る性と光観等表現 352号の非との比較) 実数4-5では、本機能に係る情気がも、質 362号時期の情報をと比較し

7.1. 契利4では、水の万治で、実列1の移気料の放金域が力をウストした。オリカ5、 残気外を、3、2 com/6の影響を守する写め回じ取り付け、フリーターで従力等でを測定した。859ヶ3ト母分(1/sin)の気液を管に迫した。 対定した圧力級下達は、ポリスイスを買う可得セラップの設面をは近く地知し、 残な心を打力がよくなった。表針データを呈して来している。

実例5及び6は、第1362号針桁の実例2及び4にそれぞれ対応している。 第1362号輪桁の実例2及び4において、フラップの長き及び4位変化し、実 所4と同一のノズルを(気振が)85リットル解分(4/xia)で遅る際の圧力圧 下について、各弁をラストした。

		# 1	
実例	オリフィス面積 (cm ³)	圧力条下 (パスカル)	気流抵抗力 (ニュートン)
4	5. 3	28.48	0.9140
5 *	5. S	80.75	0.0322
6 *	13.5	17.84	0.0238
6 *		17.84	

数1のデークは、本発的に体る部別弁(演例4)の気流程能力は、期、352 号輪野の輸現庁よりも小さいことを示している。

資例? (後人効果) を行い、本発明に係る誘気弁が、呼吸中に翻鎖マス

本典では、通常の呼気試験を行い、本発明に係る研究弁が、呼吸中に超速マス ク内にどのようにして会理を生じ得るのかを明らかにした。

「滋蕉の呼吸試験」とは、人の音楽の呼吸を採集する比較である。このは繋や は、無能能強減でスクを示きの、ラシンナノートル(cm)の平らな会異質に関 え付ける。実質性は、1、81マカヤンナン・トン(cm)(平原3)/16インナンの行の部でを守するか、それにノスルを取り付ける。展別無減過マスクは、 マスク高度低かでいる企業を以下が入りる。、スプルテンタは、 直接マステボデー内等へ向けるようにする(つまり、マスク基底形をご分する平 級上の成分等表がまでの最短端終極に添って、気候が倒れるようにする)。 家は、金貨区別の乗され等に取り付けられる。 器管を名気は、ノスルを辿っ り、裏面マスク内部に成人する。 ノスルを送着する気体の違反は、万倍収数(な 個人時間、を円分間のの影響を判して求める。 電池資産者マスク内的にマノメ ーターのフェークを向け付えることは、て、万分配を保めませるといった。

※約3-13(本務等に係る類面限施養エスクー環境で及りを通る 金数数の開放である。成力数下及び除気件を減る全数集率の報告)。

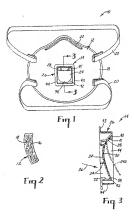
容度典量(2)で制定した。外のみを通る機量(2)は、その匹力医学物の (- 後度的して、ひ・・0・・2)で出すする。外を通る特別を集中機量率は、10 9 (4)、・0)、10で最初で、研究の正式すり終り発生、フィルター不満を 着る最低マスフターの内的もの現れもまた角であり、井のオリフィスから外向者 の成長の心が発展量でよりよう等したいり合作を設定する。因为能で多び会実 最初の子の大力を

-	_						
		まか成ド	子がなま	EAST	41	44	4
		(P(X/R))	(+c2.8.6)	(ツルベンハ)	***	***	報報
	****	/×~#88:	ノスル南部:	/ XXIEB	対象が大力	ノズル部隊	ノスル前様 リズル前後・リズル衛後:
88	(8/3)	1, 81cm	2. 26cm	9. 96cm 18. 1cm 2. 28cm 0. 35cm	18. 1 cm	2,28 cm²	0.95cm
	1.2	3.02	8.92	8, 92		52	r»
		15.09	14. 23	31. 27	57	23.4	33
	. «	85	1.4. 83	4. 3.1	30	0.9	2~ 20)
		20. 48	15. 69	-1. 7E	80	60	103
4 60		22, 34	14.88	-7.55	9	2	132
	0	24.93	14, 41	-12.94	62	1.1	201

を立ては、残るの基準を少のだいるのに、実施が加かすると思うが実施している。またのであり、が関係することができません。 次度の機能を入かり提供したいまである。しかし、企業無かかの気にとは、次度の機能を入かり提供したいまで表す。しかし、企業無かに、約300% からかり起生となりでいました。 大き 一名 (1940年) 一名 (1

気後の運動量が極大のとき (0. 95 cm %) / 水やを原用した)、田力値下 は多少水をくなり、次に、気気が増加するとからくなる。これが可能数であり、 支援機能機能が10ペーセント以上でし、君とに称じてたる。病えは、実材 [3では、3日サットル極終のときの受機量率は119/ペーセントである。ここ では、全項機能薬の15パーセントはフィルターを決を着って燃用マスク内部 へ後に当まり、他の発表者って製造される。

急放技能分類において選挙の物類を有する者には、本発物の展認的で降っな次 及や変更が可能であることは終らかである。したがって、本契制は、上型に示し た実施的に不近に確定されることなく、対すの転換に決した報節及びその均等能 数に対象されなければならない。

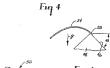


特表平7-506751 (9)

権正書の数訳文提出書 (特許法第184条の8)

F48 8 48 11 8 2 8 38









Eq. 7

65 # # 8 # B

1. 特許治額の表示

PCT/US83/03787

カンパニー

2. 発明の名称 逆止弁

3. 特許出職人

名称 ミネリタ・マイニング・アンド・マニュファクチュアリング・

4. 代取人

住所 〒540 大阪府ナ阪市中央区域県1丁昭3番7号 1 MPビル

青山特許事務所 機器(08)948-1281 万名: 禁學士(62)43 東 山 西

氏名 非既士(6214) 費 山 商 (本) 5. 輔正費の提出年月日: 1394年 3月 25日

5 飛行業器の日韓

(1) 補正事の額款文

1.86



遊艇機 送出井

技術分野

本強明は、(1)認道所建議マスクの前気弁として利用することが可能である逆 止非と、(3)請執弁を軽限した器能用建議マスクと、(3)逆比弁の製造方法とに 調する。

発明の特長

生物が出土、設定から認識用途はアメリエ以前をかであり、例えば、例の研究が は201 (1994、と行に399、ののに399、と対は399、と対は1995、と対は1995、と対 1998、とは1617年の、成立、会対は499を特別をは390をではなり、代する場合 おは153 (1999)開発で「3999年の)は、昨日に確定したで目的セラフ・ジャ オーシー力的地力を受力してかり、上次的は1890を回ってからアジールタック ました。その可能はファンブは、2000年の国はファンボのイン・グラン は近らをは、「1981年、ロージョンとは1995、他のエフィンの可能の分を含む ナミ、その可能にラーエ、可能はファンでの可能がシールジョンを見れている 上がなくのでは、2017年に対している。他にファンの可能が多かには、 上がなくのでは、2017年に対している。 ※日本語・マンドに投資である。

発明の緊急

支手系1化、未発明は、次のような遊出庁を開かり。 計に、第二級引みび第 2級のをむする対策性フィップを減える。 第1個分は下無1に取り付けられる。 序 週はアリフィスジャールリップを増し、レールリップは設額から取ると位別権 を有する。 同業性フラップは、漢等がオリフィスを運搬していないとないールリッ プロ関連は正接触する。 同能セフラップの第2級のは、液体がオリフィスを運搬 レているとなったリップからな場所がを上がる。

迎光弁は、(i) 変形的線に対して痕匿に、変形的線的いに作用する一定力、 (ii) 重力の方向に作用する力であって、可扱性フラップの第2部分の質量と、 少なくとも1数力場位の認識症との様に等しい大きるを有する力、又は、(i) 及び(3)が超み合わされた力を加えた可適性フラップの第2部分か示す変形容 線に一級する回滴性を乗えることを特殊とする。

第2に、実現物は、次のような超額所は高マスクを提供する。 減数アスクは、(a) 1.の異及びひを頂ってフィットするようにしたマスクル デーと、(b) マスクダデーに取り付ける株式坊とを養える。 助気件は、次のような前後及び関熱カフラップを考える。

(1) 弁遂は、(1) 液体があることのできるそりフィスと。(※) オリフィスを忽配し、領面から戻ると原本金等する、シールリッツを構える。シールリッツの図書館の頂点は、高度の外域に対して、オリフィスを通る成体の支机の上突羽に企業をあれる。

(2)可模能フラップは、第1及び第2部分を使える。第1部分は、オリフィスの包置上作階域の外域の非差部分になり付けられる。第2部分は、身が関値能能にあるときシールカリップの影響能を展し、また、液体が上記オリフィスを乗っているときシールリッジから最近に移る上がる。

第3に、本発明は、次のような顕微圧縮機マスクを設供する。 顕遊マスクは、以下の確認のマスクボデーと診気許を備える。

(4)マスクボデーは、人の長と口を関ってフィットするようにした形状を持 し、マステボデーを最る基体の対象数を参加するフィクター等影を構える。マ スタボデーは関口を対すらため、洗剤は、ブルタデー等を通りすでスクダブーから移出するため、剤口は、顔面用達高マスクを製用物の面面の長と口を導って 製着したときに、別口が専用者の口の目ば真上にくるようにマスクボデー上に変異的たるもの。

(多) 製菓無は、採口の配管でマスクボデーに取り付けられる。製気杯は、写 製造フランプに会議を表える。発出は、ボフィスをシールリッジを展える。可 製造フランプは、実に燃却のことの子単紙に取り付けられ、水資料の組造を使さ あるときシールリップ出に独する。可腐性フラップは第2の自由報告業える。実 2の自由値は、実体が飲み体をあっていることにフールリップから特を上がる。 実体者機体を考する配置マスド。後辺の特別数にはいてかくよくもの。5

製造の新数

- 1. 第1部分及び第2部分を有する可線性フラップを構え、
- 上記章 1項分比率度で認め付けられ、至が環境とサワイス及びシールリッドを 有し、該シールリップは商店から資本と団体金を育し、上社問責託フラップは、 表殊がサリフィスを選尾していないとシールリックの団両権と勧告し、上社同 情能フラップの限定的対し、技術がオリフィスを選逐しているときシールリッジ から寄出に持ち上がり、
- (1) 新田森県に対して委員に、実際命場所には他門する一定力、(8) 案力の方向に応用するのであって、可能性フゥップの第2回の事業と、少なくたち、1度力等なの加速度との事に与いいできるを付きるが、又は、(1) 及び(8) も組み合わせたたかを加たに可憐化ファップの京ぶが必ずす更形然間に一貫する財債を表表したと参考をよる企業を対し、
- 2. 上轮回解的は、上紀可拠在フラップの第2部分の質量と、少なくとも1重力 単位の根拠度との確より大きい一定力を加えた可能性フラップの系す差別的線に 一次する請求項:記載の逆止弁。
- 3. 上記認識的は、上記可談性フラップの第2部分の質素と、加速度1. 1~1. Sまとの様の範囲内の一定力を加えた可談性フラップの水字質影診験に一致する 類点膜1及は2記載のが止め。
- 4. 上窓写施比フラップは、資格がオリフィスを通っていないるとに、7.0℃で 2.4税間、どのような粉止金額にあってち、上窓可能地フラップの第2部のセンールリッジに対して、適めがないように接触した状態で使時するに完らな添力類和を含する適差が頂して3のいずれかに影響の変化。
- 上記オリフィスの寸途が3~4cm゚である譲渡項1~4のいずれかに影像の逆止弁。
- 6. 上駅部増加は、重力方所に作用し、かつ、上駅可随地フラップの再2部分の 質量と、加速度 1. 1・2 g との様に等しい大乗3 を有する力を包えた可接性フラップの固定部分の赤す変別指軸に一般する禁事項1.配載の施止弁。
- 7. 上記記演会は、上記可換使フラップの恵名部分の質量と、物選度1、2~4、 5 x たの様に等しいたあるを有する力を加えた可能性フラップの第2部分の呆す 変形線をは一般する特殊等で記載の過去弁。
- (a) 人の事及び目を覆ってフィットするようにしたマスクボデーと、
- (台) マスクボデーに取り付ける旅気存とを構え、
- 証拠気作は非確及び可感性フラップを構え。
- (1)上記者施は、(1)演绎が高端することのできるオリフィスと、(2) オリフィスを包囲し、商店から見ると批消機を有する、シールラッフとを得え、 おシールナッツの削減的の流点は、製造消費の外間に対してオリフィスを高る地 体の番目の上述例に改載し、
- (2)上配可額投フラップは高1款び第2部分を構え、上記着1部分は、オリフィスの台窓した収収がの外数の表面分は配分され戻り付けられ、上記第2部分は、方が別域接電にあるとまシールリッジの指摘需を返し、また、液体が上記オリフィスを返送しているときシールリッジから自由に移り上が必要指指進者マスク。
- 9. 上記可機能フラップの男に部分や単に設定され、東2条の次、販売をおす、かつ、販売機能に対して表面に作用する一定力及は上記可機能フラップの第2条の政策を少してとも、1度力度なの政策を2の機に等していたままを称する力を受けるとき、上記作機の超減機能は可機能フラップの第2条分が示す変引的線に一致マルカロボル系を3の機能に可能とつで、2012年2月8月8日 (日本)
- 3.5 上記が放布は、1つの第2部分を告する1つの可談性フラップを構え、上記等 2周分は、上記録第2周後地マスクを重定監察に移りたとき、第1部分より下方に総額があまれ、上記録第2周後地で、少なくとも3次の参議の数年万段次によって変者よれる減2万条

			2 892			_	m		
		83	2 90	395	ж			e PC1/5	35 98/5371
75,000		ette y	www.	~~~	~~	***			
mi.Ci. S	A\$2018/10:	A.	ENVER,	92	Channe	anne A	ac see		
e result to a	eoxo.								
			Man	m 00-	***	·	Cours.		
Transferred M		******			that		Commen		
fat,C1, 5	AGE	ž ;	441	1 GE		#16	a.		
	,	Conyect Nati Com	****	****	h- 1-1	23	K (resources		
OR OCHS HES	TR CHICAGONA AS	R MILLS	P1"				·		Person to China S
crows.	Owner of Darson		······································	*****	4040.		man hander		
	05, A, 4 524 19 June 199	ò							1,8,5,4.
	cesed to the	e appli le dans	xer(e						5,4,7.8. 10
	05,a,2 999 32 Septembe cited in the see column figures 1-2	e tiskt	Casto C L -		n 1.	144	r 62;		1.5
7 22	agency of your block on the control of the control of the co		-		,	3335 235		ted, when the bedween to be applicable to the parameter of the series or resource for the test or returnated for the test or the parameter or the parameter or the parameter or the parameter or the parameter or the parameter of the pa	
N (900197)			-	******					
	25 JIS.Y					-72	2004-0	Beauties Same	1I (#. 93
<u></u>	makey Arbeits					772			~~~~
	SEROPEAN							201131998	

This paper 300 der smoot (seed transport messen) in the paper transport shall be the above-control transport and at the statement of the control of the same of the control of the control

Pales decreased	Printedon 640	122	Temps Temps	~~~
32-Y-4334395	19-06-90	#8-8- #6-#- 86-#- 89-#-8 JP-#-	0284353 1242075	15-11-50 29-09-68 54-03-51 28-09-66 27-69-83
US-A-2859490		Norm		

フロントベージの締ぎ

(81)指定国 EP(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), AU, BR, CA, JP, KR, NO

(72)発明者 グラニス、ヴォーン・ビー アメリカ合衆国 55133-3427ミネソタ州、 セント・ボール、ポスト・オフィス・ボッ ケス33427番(番地の表示なし) (72)発明者 セッパラ、ハロルド・ジェイ

アメリカ合衆国 S5133-3427ミネソタ州、 セント・ボール、ポスト・オフィス・ボッ クス33427番(番地の表示なし)

(72)発明者 ファーガソン、アンソニー・ビー アメリカ合衆国 55133-3427: ネソタ州、 セント・ボール、ポスト・オフィス・ボッ クス33427番 (着後の表示なし)

